

令和5年度 第2回南知多町総合教育会議 議事録

開 閉 会 の 日 時	令和 6 年 3 月 2 9 日 (金) 午後 1 時 4 0 分 開会 午後 2 時 1 5 分 閉会
開 催 場 所	南知多町役場 第三会議室
出席した構成員	石黒和彦町長 高橋篤教育長、山下陽教育長職務代理者 吉原知味委員、折戸良直委員、内田美里委員
説明のため出席した職員	大岩幹治総務部長、滝本功企画財政課長、鈴木淳二教育部長、 鈴木和芳学校教育課長、森崇史社会教育課長、 平木克昌指導主事、八谷陽平指導主事
会 議 日 程	別紙のとおり
会 議 の 経 過	別紙のとおり
傍 聴 人	1 人

(別紙)

令和5年度 第2回 南知多町総合教育会議 会議日程

日 時 令和6年3月29日(金)

午後1時40分

場 所 南知多町役場 委員会室西

1 町長あいさつ

2 協議・調整事項

(1) 新南知多中学校建設について 《20分》

3 閉会

発 言 者	発 言 内 容
事務局 (鈴木教育部長)	ただいまから、令和 5 年度第 2 回南知多町総合教育会議を開催いたします。進行を務めます教育部長の鈴木です。どうぞよろしくお願いいたします。はじめに「町長よりあいさつ」をお願いします。
石黒町長	みなさん、こんにちは。本日は、南知多町総合教育会議を招集いたしましたところ、教育委員のみなさまにおかれましては、ご多用の中、ご出席いただきまして、ありがとうございます。また、日頃から本町の教育の充実にご尽力を賜り、心から感謝申し上げます。 本日の議題にもある南知多中学校においては、開校からもうすぐ 1 年が経とうとしています。 今月 6 日には、第 1 回の卒業式が行われ、115 名の 3 年生が卒業されました。 本日の協議・調整事項であります新南知多中学校建設については、課題が多くありますが、教育委員のみなさまには、忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げ、私からのあいさつとさせていただきます。
事務局 (鈴木教育部長)	ありがとうございました。なお、本日は、町長部局より大岩総務部長と滝本企画財政課長にも参加していただいています。 それでは、協議事項に入ります。南知多町総合教育会議設置要綱第 4 条第 1 項の規定により、町長のもとで議事の進行をお願いいたします。よろしくお願いします。
石黒町長	それでは、お手元の会議日程に基づきまして、進行していきますので、皆様のご協力をよろしくお願いします。 会議日程 2 「協議・調整事項」に入ります。 「(1) 新南知多中学校建設について」、事務局の説明を求めます。
事務局 (大岩総務部長)	(事務局、資料に基づいて説明。建築費指数について、2015 年を 100 とすると、計画当時の 2021 年が 107、直近 2024 年 1 月で 131 となっている。計画当初の学校建設費は、総額 26 億円から 37 億 1 千万円に大幅に上昇。原因は、建築資材、人件費の高騰に加え、法面補強費用が要因となっている。 学校建設をこのまま進めた場合、今以上に財政健全度が悪化し、町財政が耐えられるか懸念される。今後、整理すべき事項への対応として、建設コスト高騰への対応、財政面の整理すべき事項について、現在置かれている状況を整理すべき 1 年間検討する期間を設けたい旨を

発 言 者	発 言 内 容
(鈴木教育部長)	説明。) (建設計画状況の進捗具合について説明。R4 年度の基本計画策定時において、法面保護対策の必要性が指摘されたため、R5 に追加調査を実施し、法面保護対策のための工法・事業費を算出した内容を説明した。)
石黒町長	事務局の説明が終わりました。 ただいまの事務局からの報告について、ご意見・ご質問等ありましたらお願いします。
山下委員	今の説明を要約すると、「学校建設のためのお金が無いから今後どうしようか」ということですか。
大岩総務部長	先程の資料でもご説明しましたが、当初計画よりも建設費の高騰や、法面保護対策により、このまま事業を進めると、新校舎の令和 10 年開校は難しい状況である。建設の計画や財政的な問題に対して、1 年間検証する期間をいただきたい旨を説明した。
山下委員	計画自体を中止にする選択はありますか。
大岩総務部長	今のところ中止にする選択はありません。予定通り、旧豊浜中学校に建替えを予定しています。
山下委員	資料にある金額を借金してまで実施する必要があるのか疑問です。 将来の子どもの数の推移をみると、果たして借金をして建築することが、妥当かどうか検証する必要があるのか、それとも妥当であるという賛成を我々教育委員に求めているのかという点をお聞かせください。
事務局 (鈴木教育部長)	今後の人口の推移をみると、クラス数を減らすなど建設計画をよく検証する必要があります。法面保護対策についても、関係機関と調整する必要があるので、こういった事案を 1 年かけて検証する必要があります。
山下委員	公共施設再配置会議に参加させていただいて、将来的な町内人口の減少から町内公共施設の集約を目指していく中で、新しく学校建設を

発 言 者	発 言 内 容
事務局 (鈴木教育部長)	実施していくのが、先を見据えた計画なのかは、疑問があります。 当初予定した建設事業費が上昇してきた中で、そういった疑問についても、学校施設だけでなく、町公共施設全体を見通して、1年かけて検証する必要があります。
山下委員	そうであるのなら、「中止も選択の1つにしていいたいかな」と思います。今建て替える時期かどうかは、疑問が残る。実際建設費は、将来的に人件費など確実に上昇していく。3年4年後には、この見積金額でいけるのか、不安な点があります。
高橋教育長	教育委員会としては、令和10年度に新校舎移転を目指していきたい。しかし、委員さんが心配されるように、施設計画を見直さないと財政的に厳しくなってしまう。また、人件費を考えると、能登半島地震や大阪万博建設工事などにより人件費高騰が予想される。こうしたことから、1年検討する時期が必要です。将来、町内各小学校の児童数は、各学年一桁となることが予想される。いろんな意見を考慮して施設計画を考える必要がある。1年間の期間をいただいて、検証させていただきたいです。
山下委員	施設を建設することについては、変更ないということでもいいですか。
高橋教育長	はい。現在の町内小中学校の建設経過年数から考えると、どこかに校舎を建設する必要があります。
町長	南知多中学校の場合、施設耐用年数は、あと何年使えますか。
事務局 (鈴木教育部長)	計算上ですと、施設耐用年数は80年ですので、南知多中学校は、あと20年ほどです。
高橋教育長	どこかに建設することは必要です。ただ施設規模として、無駄のないように建設計画を考えていきたい。
町長	実質的に10月ごろまでに協議をして、結論を出していきたいと考えています。ほかにいかがですか。
内田委員	建設予定地が山の上ということで、法面保護工事が必要ということ

発 言 者	発 言 内 容
大岩総務部長	ですか。場所については、旧豊浜中学校で変更はないですか。 はい。旧豊浜中学校で進めていきます。また、山の上だからではなく、当初、旧豊浜中学校の建設地形から地山と考えていましたが、地質調査をした結果、グラウンド西側斜面や校舎北側斜面が地滑りする恐れがあると判断されたため、子どもたちの安全安心を担保するため、法面保護工事が必要となりました。
町長	計画どおり旧豊浜中学校に建設する上で、どうしたら建設できるか考えていきます。
高橋教育長	4月に新しい区長さんたちへ同じ資料に基づいて、本日の議題を説明する予定です。また、今後、保護者や地域住民を対象に説明会を実施する予定です。
折戸委員	篠島では、令和10年の統合に向けて保護者の考えが前向きになってきている印象があります。特に、豊浜に新校舎をつくることに対して、島の人たちは前向きに考えている印象があります。
事務局 (鈴木教育部長)	財政的なことを考えると、校舎、体育館を段階的に整備することも一つの案として考えています。旧豊浜中学校跡地への建設を前提として考えていく中で、一つの例ではありますが、こういったことを検討させてください。
折戸委員	令和10年は、みなさん意識している印象をもっている。
石黒町長	他にみなさんよろしいでしょうか。個々にわからないこと、疑問がありましたら、教育委員会を通じて、いつでも聞きに来てください。 それでは、時間となりましたので、本日予定していました協議事項については以上であります。ご協力ありがとうございました。 それでは、会の進行を事務局にお返しします。
事務局 (鈴木教育部長)	議事進行ありがとうございました。委員のみなさまにおかれましては、ご協議いただきましてありがとうございました。 以上を持ちまして令和5年度第2回総合教育会議を閉会させていただきます。本日は、お疲れ様でした。